

滝田医院ニュース 第41号

〒022-0001 大船渡市末崎町字平林75-1 滝田医院 電話0192-29-3108

内科(循環器、呼吸器、消化器)

院長 滝田有(たきた たもつ):医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医



FMねまらいん

(87.5MHz)を
聴きましょう。「けせん町
の保健室」が提供するラ
ジオ番組の健康情報コー
ナーに院長も協力してい
ます。正確で興味深い情
報を皆さんにお届けした
く思っています。ウソが
多いテレビを視るより健
康情報はFMラジオを聴
きましょう!

●当院は「予約優先制」です。定期受診の方はなるべく予約してください。待ち時間が少なくなります。もちろん急病の方は予約なくとも受診できます。当日の予約は出来ません。前日までは電話予約も可能です。

●**臨時休診のお知らせ:2月1日(土)、3月22日(土)は休診とします。県医師会理事会ならびに日本循環器学会出席のためです。ご了承ください。**

●**休日当番医のお知らせ:3月16日(日)は当番医をやります。**

真冬でも「脱水」にはご注意ください!

暑い夏はどんな人でも脱水に注意して水分補給を心がけます。では寒い冬はどうでしょう?熱中症の心配はないから気にしなくても良いのでしょうか?そんなことはありません。冬は空気が乾燥する上に、寒いので暖房をかけます。すると部屋の中はますます乾燥します。周囲が乾燥すれば人間の体から水分が奪われていきます。つまり真冬でも脱水になりやすいので注意が必要です。

普段元気なお年寄りでも冬の脱水から起こるのはまず「便秘」です。寒いため一日中コタツに入り体を動かさなくなります。すると腸の動きが悪くなって便秘が起きやすくなります。その上、脱水が加わると大腸の中で便が硬くなりますますます出づらくなります。

す。**めまいや頭痛**も脱水症状の場合もあります。

さらに病気になった人ほど脱水にはさらに注意が必要です。**インフルエンザ**などで高熱が出れば、体から水分は奪われます。**ノロウイルス**などで下痢になった方も水分はどんどん奪われます。ですから病気で熱や下痢という症状がある人ほど水分補給を心がけてください。

これらの病気で「点滴」が効くと固く信じている人がいます。多少薬も入っていますがこういう病気で「点滴」が効くのは水分補給をするからです。ちなみに「点滴」は専門用語で「補液」と言います。薬局で売っているOS1は「飲む点滴」と言われています。少なくとも一日**1本500ml**、若い人なら**3~4本**飲んで構いません。

さあ大変だ??「インフル」と「ノロ」

マスコミが騒ぎ過ぎて医療機関は正直迷惑しています。ちょっと具合が悪い患者さんが受診したとします。その人の務めている職場や学校で「インフル」や「ノロ」の人がいたとすると、上司や先生が「**陰性の証明**」を医療機関から持ってくるように、との要求があります。**そんなことは出来ません**。はっきり白黒つけられない場合の方が多くいます。「インフル」

は迅速抗原検査ですぐ結果が出ますが、これで陰性でも医者診断で「インフル」と診断する場合があります。「ノロ」にいたっては一般の病院では検査できません。「インフル」も「ノロ」も昔からありますし、軽症で治癒するのが殆どです。マスコミが騒いでいるのは集団感染を起こした施設をいじめたいが為だと思います。そもそも「**インフル」「ノロ**」のような略語は**医学では使いません**。

目次:

冬でも脱水にご注意	1
	
騒ぎ過ぎ!	1
今後の医院	2
気仙の医療 有名人がって誰や?	2
BRTに物申す	2

●<http://takita.webmipr.jp/>

●保険診療は必ず診察が必要です。これは法律で決まっています。毎回薬だけでは困ります。



今後どうなる、滝田医院。

仮設診療所も今年3年目を迎えます。他の医院さんは大部分が立派な新しい建物・設備で再建を果たしています。残念ながら当院は本格的建物の建築には至っていません。手狭な建物で皆様には大変ご迷惑をおかけしています。

しかしプレハブ建築ではありますが基礎工事はしっかりなされており耐用年数は20年という事です。かなりの金額を岩手県に助成してもらっていますので有効に使わなければな

りません。ただ現状は待合室はともかく、点滴や採血などをする処置スペース、さらに職員の休憩スペースが手狭です。現在地のままで増築もしくは別棟で建てることを考えています。後継者もないので、私自身の体が何年持つかによって当院の存続が決まります。予約優先制は私自身の体にも楽ですし、往診の時間をねん出する事も出来ます。当院の存続のために定期受診の患者さんは極力予約を取るようお願いします。



ちょっとだけ考えよう 気仙の医療

3.11大津波のあと、医療関係者と行政が気仙の医療について話し合いを進めています。医者は少ない。看護婦さんも薬剤師も少ない。介護をする人も足りない。医療と介護との連携がうまくいかず、在宅医療も遅れている。これが現状であることを確認して今後どうすればよいのかの話し合いに移っています。これが私が会長を務める「気仙広域環境未来都市 医療介護保健福祉協議会」

という長ったらしい名の会議です。

今年は患者さん方の協力を得ながら、医療と介護を結ぶコンピューターのシステムを作り上げるのが主な仕事となります。どういうシステムなのか、具体的な説明を住民の方々を対象に来る**3月15日(土曜日)午後16時**に**カメラアホール**で開催予定です。いずれ市の方からご案内があると思いますが当日は**有名人のゲスト**も出演する予定のシンポジウムです。奮ってご参加ください。

駐車場のお願い

当院入り口前には駐車しないでください。入り口は車椅子を使う方や体の不自由な患者さんのために空けておきたいのです。歩ける患者さんは駐車場の広いスペースの方に停めてください。また駐車場で喫煙はご遠慮下さい。

BRTに物申す！

昨年秋にBRT専用線が小友まで開通しました。末崎町内にも細浦駅のほかに太田仮設の近くにも新駅が出来ました。新駅から当院までは数分間の徒歩で来れますので、末崎町外の方も通院が少しは楽になったと思われれます。末崎町の要望に沿って新駅を作ってくれたJR東に感謝します。ただ小友以南は専用線の計画はなく従前のまま農免道路をくねくねBRTが通っています。大船渡市民で気仙沼や仙台東京へ行くときに、BRTを通して気仙沼まで乗る人はほと

んどいないでしょう。またBRTの車体は新車ではありませんが乗降に便利なノンステップバスではありません。恐らく農免道路を通るので物理的にノンステップは不可能なのでしょう。小友以南も専用線は導入できないのでしょうか？専用線上の各駅を起点にお得のオンデマンドタクシーを使ってみてきめ細かな交通網を作れるのではないのでしょうか？行政の検討を望みます。上の記事の会議でも言っているのですが。

